

「英語についての雑談」

最初に先月の続きで今月にするとした「話す」の英語について、書いてみます。

「話す」との動作を表現する英語として、意識も含めて、出せるだけ出すとするといくつ位出てくるでしょう。10個以上出てきたでしょうか？羅列してみると speak, talk, tell, say ここまでは良く使われる動詞ですね。それ以外では mention, state, explain, chat, narrate, whisper, converse, discuss, consult, express, describe, verbalize, utter, parley, confide, voice, pronounce, mouth などなどたくさん出てきます。これら「話す」意味の動詞は、一般的なものと特定の場面で使われる場合がありますが、簡単な例を書いてみると、

speak: 最も一般的で talk に比べて話す内容に焦点が置かれ、よりフォーマルな語、特定の言語を話せる意味も。

Do you speak English? 英語が話せますか？

talk: 相手に向かって言葉を発することに焦点が置かれ内容は重視されない。おしゃべりの意味合いでも使われる。

People will talk. 人の口に戸は立てられない。

tell: 情報を相手に伝える事に焦点が置かれ、say に比べて話の内容に焦点が置かれる。

Tell them that I will be late. 彼らに私が遅れることを伝えてください。

say: 言葉を発する意味で一般的で、実際に話した言葉そのものを目的語にすることができる。

He said "That's good." 「それはいい」と彼は言った。

mention: 言及する（ある特定の事柄を話す）、口頭でも文章でも話のついでに簡単に述べるニュアンス。

Don't mention it. お礼には及びません。（どういたしまして。）

state: (公式に) 述べる、明言するなどはっきりと述べる場合。explain も物事をはっきり説明するなど。

I will state only fact on it. 私は、その事について事実だけを話す（述べる）。

chat: (くつろいで) 雑談する、(なれなれしく) 話しかける、internet でもリアルタイムな雑談などに使用。

They were chatting in the coffee shop. 彼女らはコーヒーショップでおしゃべりをして過ごした。

narrate: (順序立てて) 物語る、話す、や(映画やドラマなどの) 語り手になる。

He narrated his adventure. 彼の冒険談を話した。

whisper: ひそひそ話す、ささやく、噂する、などと自然の風、葉、川の流れなどがさらさら鳴るなど。

She whispers in my ear. 彼女は私に耳打ちする。

converse: 談話するなど、派生語の conversation 会話、談話、対談などからも話す状況がイメージできる。

I can't converse any more. もうこれ以上会話できません。

ちょっと飽きてきましたね。残りの動詞も話している場面をイメージできるでしょうか。discuss (議論する、話し合う)、consult (相談する、協議する)、express (言葉で表現する、言い表す)、describe (言葉で述べる、説明する) verbalize (言語化する、言葉に表す)、utter (言葉・うめき声・ため息などを口から発する、打ち明ける)、parley (談判する、交渉する)、confide (秘密を打ち明ける)、voice (感情・意見などを表明する、発声する)、pronounce (発音する、公言する、宣告する)、mouth (口を動かして伝える)。もう少し頑張って例文を作ってみましょう。

We discussed the problem. 我々はその問題について話し合った。

I consulted my doctor about my recent headache. 最近の頭痛について主治医に相談した。

She expressed her appreciation to the audience. 彼女は感謝の気持ちを聴衆へ語った。

Please describe him. 彼の人相風体を話してください。

I cannot verbalize the excitement at that time. あの時の感動は言葉で言い表せない。

He uttered his thoughts. 彼は考えを打ち明けた。

He came to parley with us. 彼は、談判に来た。

I have something I have to confide to you. あなたに打ち明ければならないことがあります。

He voiced his concern to us. 彼は我々への懸念を述べた。

Then judgment was pronounced. それから判決が下された。(judge が宣告した)

She mouthed a few words at me. 彼女は二言三言声に出さずに口を動かして伝えようとした。

いかがでしょうか？少し無理した例文もありますが、何となくのイメージは湧くでしょうか。

違う話題としてまた、発音についての勘違いの恥ずかしい話を一つ。慣用句表現で、私が最初に聞いた時には、ん？と感じた表現。

・ get rid of ~ 「~を消す」「~を取り消す」「~を手放す」などの意味（高校で習うレベルの熟語ですが、学生時代は、理学系で英語に興味を持たず、学校英語が身につけていませんでした）

なぜ、ん？と思ったかは、rid を lid（蓋）だと誤って認識したためでした。その後も暫くは、「そうか、蓋を取ることで中身を捨てることができるので、get lid off our plan とか get lid off my old car とかの意味になるのか」とお粗末な状況でした。get lid off ではなく get rid of です。（恥）

その他、日本の英語教育では出てこないかなと思える英語として耳にしたものでは、

- ・ How come? これは、Why? で、ソフト設計で期待動作をしない時によく“How come?”と呟いていました。
- ・ What's up? これは親しい仲間と会った時などに、「どうした?」「調子はどう?」などの挨拶で使われます。更に省略しての英語は、Wassup?（ワザップ）などのスラングになります。
- ・ Howdy! これも親しい仲間などと、「やあ!」や「こんちわ!」などの How do you do?の短縮形です。
- ・ suck 意味は「吸う」ですが、下手、最悪などの使われ方があります。You suck! お前下手、This sucks! 最悪!
- ・ bullshit ちょっと汚い言葉で申し訳ないですが、大嘘つきで Don't bullshit me! 嘘をつくな! となります。雄牛の糞がなぜこのような意味となったのかは調べていませんが、shit 関係の言葉は、日本でも米国でも失敗した時など同様な言葉を使いますね。しかし、子供がこの言葉を使うととても叱られます。子供の前では shoot や poop などと言い換えているようで、少し汚さが少ない表現としては crap なんかもあります。

そういえば、shit と sit も発音は感覚的には、シイ(エ)ット と シイット でしょうか? 家には2匹のミニピンがいて1匹(black-tan “Momo”)は、2003年アメリカ生まれで2004年12月に日本入国し、もう1匹(choco-tan “Sakura”)は2008年日本生まれですが、おすわりをさせる際に私が sit と言っても、Sakura は直ぐに座るのですが、Momo はなかなか座りません。娘が言うと両方とも直ぐに座るので、もしかして、私の発音問題? (まさかと思いますが)

今月はここまでにします。